平成 30 年度　小規模多機能型居宅介護　サービス評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表
　平成 31 年 3 月 19 日実施

◆自己評価
　事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

(株)ケア・フレンズ
つどいの家・よかったね

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	株式会社 ケア・フレンズ	代表者	脇屋　智樹
事業所名	つどいの家・よかったね	管理者	澤邊　浩隆

法人・事業所の特徴	経営理念『年をとっても、障害をもっても、自分の望む場所で自分らしく生き続けていきたい。そんな想いを受け止めてくれる「優しい街」つくりに少しでも貢献していきたいと考えています。』

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	０人	１人	０人	０人	１人	１人	３人	人	人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	具体的な到達点や、達成が視覚化出来る様、数値を使った目標を検討する。 また、多くの職員が参加出来る様シフトやミーティングの日程、時間の調整を行う	個人目標に、具体的な数値（期間、実施人数等）を設け、到達及び評価できる形式とした ミーティングの形式を都度検討。 時間の拡大、申し送り形式のマニュアル化、書式の変更を行う	具体的な目標作成及び、実施を行う事は出来ているが、数人のスタッフの目標が評価しにくい所があるのではないか。 （介護サービスの特性上、数値にしにくいものがあるが、もう少し工夫の余地がある）	スタッフの目標の数値化や、具体的な指標は継続。 個々の目的が、チーム目標とリンクする様設定。 スタッフと 3～4 か月毎に定期的な個人面談を開き、事業所としての方向性や、改善するべき課題を共有して行く。
B．事業所のしつらえ・環境	事業所入り口付近から、玄関までの構図や展示等をスタッフ間で検討し、一般の方にも意識してもらえるような物にしていく	玄関に新しく、ウェルカムボードを設ける。また、椅子や手すり等も使い易いものに変更する。	しつらえの変更を行う事は出来ており、以前よりも玄関の雰囲気が良くなっている。 入り口付近は依然として、事業所入り口であることがわかりにくい為、今後さらに改善して欲しい。	左記の意見を踏まえ、入り口付近の表記、及び環境を検討。 また、運営推進会議時に年 2 回会議のメンバーの方に事業所内に入ってもらい直接意見をもらう機会を設ける。
C．事業所と地域のかかわり	地域イベントを知るべく、公民館のチラシやＨＰの確認し、参加できるイベントを探していく。 松本地区の回覧板を事業所に回るよう依頼。	公民館の HP 及びチラシを参考にし、イベントの把握に努める。 松本商店街及び、松本地区の祭りに参加。	大きな地域イベントには参加出来ているが、その他の細かな活動にも参加し、地区の方との繋がりを増やしていくと良いのではないか。	同目標継続。 公民館の HP 等でイベントを確認し、事業所として参加できるものにエントリー行い、地域の方との関係性を深める。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者から聞いた地域の情報をMAPなど、紙面にまとめ、スタッフ個々の情報を出せる場所を作ると共に、それらを共有していく。	スタッフ個々に情報を集め、松本宝永地区の地域マップを作製。 それを元に２～３度外出のイベントを行う。 また、つどい利用者の生活環境エリアにどのような社会資源があるかを知り、スタッフ間の共有と活用を検討する。	外出イベントに関しては、概ね実践できているので今後も継続して行くと良い。 利用者が活用できる地域資源に関しては、運営推進会議のメンバー等、専門職種に話を聞きつつ、適切な活用の情報を得ると良い。	実際に社会資源を活用する必要性を検討。 現在の利用者の生活情報を意識し、そのうえで利用できる社会資源を探す努力を行う。
E．運営推進会議を活かした取組み	まず「地域活動」を今年の中心テーマとし、それに関して必要な情報（開催日、場所等）を集める。また、運営推進委員会の方法（説明の仕方や開催場所）を検討すると共に、多くの方に参加して頂けるよう、声かけ等を行っていく。	運営推進員会にて、地域の参加者より地域の活動のアドバイスを受ける。また、地域の外部ボランティアに声を掛け、事業所と地域の関係性を作れるよう働きかけを行う。	運営推進会議を報告の場だけでなく、今後事業所が行いたい活動に対し、必要とされる情報を求めるような、働きかけを行い、今後さらに良い会議になるよう取り組んでほしい。	活動報告だけでなく、今後の活動に必要な情報及びアドバイスを受けれるような、会議の資料作成及び打合せを行い、会議の場を設ける。
F．事業所の防災・災害対策	地域防災訓練への参加。 シフト（人数調整）行事の調整	地域の避難訓練への参加。 自事業所の避難訓練の企画実施を行う。	今後も、同訓練を継続して欲しい。また今後は事業所だけでなく、他部署を含めた避難訓練等を行ってみてはどうか。	つどいの家、だけでなく本社建物を含んだ避難訓練の検討。 実施企画の作成。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 30 日
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤 4 名　非常勤 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	8 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画

・情報共有用のノート等を作成し、職員の閲覧サインを設け、スタッフの情報共有
・家族が事業所に来られる事が少ない家族には
① 送迎時に声かけを行うようにする
② カンファレンスや担当者会議に、管理者/ケアマネ以外の職員が参加する

前回の改善計画に対する取組み結果

ノートの設置　訪問時に家族に声掛け　来所している家族に関して　家族の時間帯を考慮して
家族と話して、ケアの変更等いる
・担当者会議、会議には一部職員のみ参加　（全員は参加出来ていない）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1 名	9 名			
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		7 名	3 名		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2 名	6 名	2 名		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		6 名	3 名	1 名	

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・情報共有ノートの作成
・上記ノートの使用方法を適宜検討し、情報の漏れや抜けが無いよう、都度改善
・家族来所時には　①自宅での過ごし方を聞く　②つどいでの様子を　伝え
密な情報交換を行う

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・当日起こった急な変更や、状態の変化が共有されないことがある
（特に、日勤から夜勤者へ伝わっていないことが多い）
・利用者情報以外の、業務連絡、事故報告等が共有されにくい事がある

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・伝達方法の改善　（帳票の見直し【送迎・業務マニュアル等】
・ミーティングのルール及び手法の検討、見直し。
・必要に応じ、ミーティング時間の増加

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	６人	３人	人	10 人

前回の改善計画
・意思表示困難な利用者に関しての情報収集方法 (観察視点の知識を増やす・ライフヒストリー等から本人の好みを推測する) ・新しい活動を行った際のモニタリング 利用者の反応等から新しい活動のきっかけを拾えるよう、意識的に観察する ・情報を共有できるシートの導入を検討する
前回の改善計画に対する取組み結果
・アルバムチェックを行い、利用者の昔の雰囲気や好みを知り、スタッフ間で共有 ・全身の観察。　食事量、排尿量、水分量の観察　皮膚の状態観察 ・新たな活動等を行う事は出来たが。 ・ノートを使った、情報の共有。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		３名	７名		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	１名	５名	４名		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	１名	５名	４名		
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	１名	３名	６名		

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日常会話からの情報収集（昔の話、家であったことを意識的に話題に）することは出来ている ・意思表示困難な利用者に対し、姿勢（傾き等）、表情、全身状態を意識的に観察し、情報を得る努力は行っている ・『～したい』との目標に向け、何ができるかをミーティング等で検討している ・個人記録の形式を変更、ケアプランを表記しスタッフが目標を指揮できるようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者全員（29 名）の目標を、スタッフが全把握できていない ・ケアに関し、提供の幅が広く、何が適正なのか判断に迷う事がある ・利用者が希望する最終到達点を意識できないまま、その場しのぎの課題解決になる事が多い	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・つどいミーティングで、利用者ニーズの希望を書く ・利用者に担当スタッフを設け、１人ひとりを掘り下げニーズを明確にするとともに課題や、目標を発信できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	３人	３人	２人	10 人

前回の改善計画
・情報把握のための研修を開催する （書類等からの把握ポイント、コミュニケーション時の確認ポイント等） ・共有するために、記録方法(表記方法)のルールを作成する
前回の改善計画に対する取組み結果
・記録方法に関しては統一したスケールで行うことができている。 ・

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		１名	３名	６名	10 名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	３名	２名	５名		10 名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		３名	７名		10 名
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	２名	８名			10 名
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	１名	７名	２名		10 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の ADL 状態に合わせ都度ケアの見直しを行っている ・また、ADL だけでなくニーズを意識したケアを提供できるよう意識している （安易にあきらめず、具現化できる方法を検討） ・状態の変化が見られた際は、管理者・CM・NS 等しかるべき場所に報告している ・情報共有ノートの使用方法を適宜見直し、記載方法を含むルールの変更を４回行っている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・以前の暮らしに関して 10 個以上把握することができていない ・自宅での生活環境　（特に独居）会話だけで知りえる部分以外の生活が把握できていない ・利用者不穏時に、適切な対応ができているが疑問に思うことがある	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・夕方のミーティング（申し送り）の手法と用紙を改善 必要な情報や、記載方法を再度明確にし、運用する ・利用者の個別担当を決め、１人当たり１～3 名情報を収集すると共に、それらを発信できる 環境づくりを検討していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	3 人	1 人	6 人	10 人

前回の改善計画
・地域資源に関する勉強会 ①　地域資源の種類や活用方法 ②　松本・宝永地区周辺の地域資源の理解 ・地域の活動へ参加（周辺地区のイベントを回覧板や公民館の HP で確認し参加、交流を増やしていく）
前回の改善計画に対する取組み結果
・防災訓練・縁側ミーティング/福井ケア連絡会への参加 ・松本地区にある地域資源の把握　（地域 MAP の作成）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		4 名	3 名	3 名	10 名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		2 名	6 名	2 名	10 名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		5 名	2 名	3 名	10 名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1 名	2 名	7 名	10 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用年月が長く、関りが密になっている利用者の人間関係、生活スタイルの把握はできている ・在宅を主とし、家族との関係性が良好でいられるようサービスを柔軟にしている ・松本小学校や、松本地区の祭りの参加。地域の防災訓練の参加（模擬訓練） ・松本・宝永地区の地域資源 MAP の作成	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地区の資源活動に関しての知識、および活用が少ない　（民選委員等含む） ・運動会や清掃活動といった、その他の活動への参加 ・利用者が事業所を使用していないときの生活把握ができていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・松本地区への行事参加への検討 ・町内会等依頼行い、回覧板等で行事を確認し、都度参加を行い地域との関係性を構築していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	１人	２人	７人	10 人

前回の改善計画
・地域資源の把握 ・様々な状況下において、どの地域資源との連携を取ることが可能かリストアップを行ない、職員が理解できるようにしておく
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域のスーパーと連携し、認知症状をもった方への買い物の対応連携が出来た ・事業所利用者が住む地区の民選員と連携をとり、災害対策時等の安否確認の連絡網を作成

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		３名	５名	２名	10 名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	１名	８名	１名		10 名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	２名	８名			10 名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	２名	８名			10 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者・家族のニーズに合わせた柔軟なサービス提供 ・また、緊急時の泊りや通い提供、訪問回数の増加、といった臨時対応 ・情報ノートや、個人記録を振り替り定期ミーティング等で利用者変化及び対応を検討している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の幅広い活用 ・利用者に対し柔軟な対応を行っているが、その変更した情報を休んでいるスタッフに伝達されていない事があり、対応方法が統一されない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用者に対し、状況に応じた一部変更のあるサービスを行った際、それらを記入する場所・申し送る手順等を設け、変更したケアが細部まで伝わるよう情報共有のシステムを構築する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	４人	３人	３人	10 人

前回の改善計画
・松本祭り、縁が和ミーティング等地域の活動を継続していくと共に、奉仕活動や町内会行事 ・デイホーム等イベントへの参加を増やし、交流を図っていく

前回の改善計画に対する取組み結果
・縁が和ミーティングへの参加は継続。地域の方との意見交流を都度行っている ・松本まつりに関しても例年同様出店行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			３人	７人	10 名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		１人	１人	８人	10 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	２人	２人	２人	４人	10 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		４人	１人	５人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問看護、福祉用具等と都度連携を図り、利用者の状態変化に応じたサービスを提供 ・運営推進会議の定期開催 ・地区の中学生や小学生との事業所での行事開催。実習生のボランティア参加 ・地域の避難訓練参加	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・特定職員以外（管理者・主任・ケアマネ）の、行事、会議の参加ができていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・特定職員以外のスタッフの地域活動への参加 ケアリーダークラスの職員を、運営推進会議等へ参加し地域との方や外部の方との関係性を作っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤４名　非常勤６名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	２人	３人	５人	10 人

前回の改善計画
・地域の意見を反映させるため、運営推進会議の手法及び参加者を検討する １．民生委員他、地域の方やカフェの来られている方や事業所の利用者等、参加される方の枠を増やし、意見を多く収集できる場にしていく ２．その為の、参加依頼や運営推進会議の進め方等を検討していく
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議の参加者に関しては、職員側は増えた。 ・また、地域のデイサービスとの合同開催を行う事で外部（地域）の方の参加も増えている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	２人	１人	１人	６人	10 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		５人	３人	２人	10 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		５人	３人	２人	10 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		１人	３人	６人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見を出しやすい環境である（否定されない、話を聞いてくれる等） ・家族や、利用者の意見を参考に、サービス形態の変更を行っている ・災害時の受け入れに関する連携、防災訓練の参加等を行っている ・以前よりも、まちよかカフェに来ている地域の人と交流を図れるようになる（1 日 1 回以上）	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の方の意見を取り入れることができない ：災害以外に関し、必要とされる拠点づくりに関する取り組みを行えていない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・前回同様に、更に地域の方を運営推進会議に呼び込み、様々な意見を取り入れ今後の運営に関する取り組みの根拠としていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤名　非常勤名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	3 人	3 人	2 人	10 人

前回の改善計画
・研修（事業所内・外部）への参加が出来る環境体勢 １．スタッフの希望や、必要としているスキルに関する研修の選定 ２．上記研修に参加出来る様な、シフト体制を調整
前回の改善計画に対する取組み結果
・スタッフ７名、外部研修への参加を行知識技術の向上を図る事が出来た ・同様に、研修に参加できる環境づくり（シフト等）の調整を行う事ができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2 人	2 人	3 人	3 人	10 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1 人	2 人	2 人	5 人	10 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	1 人	3 人	5 人	10 人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		3 人	4 人	3 人	10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・スタッフの年数や、現在のスキルに応じた研修を選定し、参加する機会を作っている ・1ヶ月に1回、グループ・事業所内研修の開催 ・えんがわミーティングへのスタッフ参加	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新職員や、経験の浅い職員への外部研修参加企画が少ない 事故報告からの迅速なミーティング、再発防止策の周知徹底	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・今回研修参加のサイクルが出来たため、それを継続 ・また、管理者が年数や必要スキルに応じた研修をいくつか提示し、スタッフがそれを選んで参加できる様な取り組みを行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 20 日
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤名　非常勤名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	5 人	2 人	1 人	10 人

前回の改善計画
・関連する知識、技術の研修を開催する １．成年後見人に関して ２．利用者主体で、物事をとらえるために必要な視点、考え方に関して
前回の改善計画に対する取組み結果
・上記を意識した研修や知識の補填等はできず ・つどい利用者の、後継人の方とは密な連携をとり役割や、ケアの分担を行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10 人				10 人
②	虐待は行われていない	10 人				10 人
③	プライバシーが守られている	6 人	4 人			10 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3 人	2 人	5 人	10 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3 人	2 人	5 人		10 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束のほか、スピーチロック等　本人の活動を制限する対応を行っていない ・利用者が、何を思っているかを考えるため、まず傾聴する事を各スタッフ意識している ・個人情報の入った書類等は別に収集し、シュレッダーにかける。 ・事業所内に掲載する写真に関しては、本人、家族に同意を取り掲載している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人に関する理が、各スタッフ薄い。 （事業所利用者１名、成年後見人がついている）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）